

科目名	科目番号	科目群名
研究プロポーザル演習	825003	研究マシ ント
担当： 瀬渡章子・吉田容子	専攻：社会生活環境学	
授業方法：演習	対象： 全学年	
単位数： 1	学期：後期不定期	週時間： 15
曜日：	時限：	教室：
授業の概要： 研究職への就職や研究資金の獲得のためには、自らの研究が当該専門分野においていかに有効な知見を提供するものであり、かつまたオリジナルなものであるかを、わかりやすく効果的に示すことが重要である。本演習では、研究職や研究助成への応募申請書類作成の方法を実践的に紹介する。また、本学大学院修了生で、ここ数年の間に研究職に就いた方をゲストスピーカーとして招き、大学院における研究生活や、就職、研究資金獲得にあたっての経験談、さらには受講学生へのアドバイスを行ってもらい、研究に対する受講学生の意識をいっそう高め、女性研究者の養成に努める。		
学習目標： 研究職や研究助成金への応募申請書類作成の仕方を実践的に身につける。また、ゲストスピーカーの経験談やアドバイスを聞き、研究に対する自己認識や将来へのビジョンをしっかりと持つ。		
キーワード： 研究助成、応募申請書類の作成、研究職への道、女性研究者		
授業計画： 第1回目：本授業のガイダンスを行う。 （学習目標、授業の進め方などについて説明） 第2回目以降の授業計画は、次のとおり。 I. 日本学術振興財団特別研究員、または、各種助成金（民間団体を含む）への応募を念頭に置いた申請書類の作成。 (1) 応募可能な研究助成の検索の仕方（1回） (2) 応募申請書類作成の仕方（2回） 過去に採択された申請書をサンプルとして、書類作成の仕方を紹介。 II. 研究や教育について、女性研究者の立場から考える。 ゲストスピーカーによる体験談およびアドバイス（2回） III. 本授業のまとめ (1) 研究助成応募申請書類の講評（1～2回） (2) 本授業から何を学んだかをディスカッション形式で討論（1回）		
教科書： 特になし。必要に応じ資料を配付する。		
参考書： 適宜指示する。		
成績評価方法： 日本学術振興財団の特別研究員への応募、または、各種助成金（民間団体を含む）への応募を念頭に置いて作成された申請書類を、評価の対象とする。また、ゲストスピーカーの体験談やアドバイスに対する意見・所感の提出も、評価に加味する。		
評価割合： 授業参加（小レポートを含む）30% 最終レポート70%		
備考： ・学期はじめの後期課程全体ガイダンスのさい、学年歴（後期分）に合わせた授業日と授業内容を、資料として配付する予定。 ・受講学生への連絡はおもに学務課掲示板を使用するので、注意すること。また、やむをえぬ理由で授業を欠席する場合は、担当教員に必ず連絡すること。 ・履修に関する問い合わせ等も受け付ける。 連絡先：yoko@cc.nara-wu.ac.jp（吉田）		